

平成 26 年度 事業報告書

藤枝市社会福祉協議会の目指すビジョン(方向性)は、「地域で生活するすべての人の安心と幸せを実現するための仕組みづくり」にあります。

このビジョン実現に向け第 3 次藤枝市地域福祉活動計画(推進期間は平成 24 年度から同 28 年度の 5 カ年計画)に沿って、基本理念の達成に向けて地域福祉・在宅福祉活動を積極的に推進しています。

平成 26 年度は、この計画の 3 年目であり、さまざまな生活課題に一人ひとりが関心を持ち、住民・地域・行政が対等に協力し合い、連携することによって地域で解決していく取り組みができるよう努め、各事業を実施しました。

また、生活介護事業所「ポップライフ」の円滑な運営、各地区社会福祉協議会における暮らしの調査事業の実施及びしあわせ宅配便「宅配・配達冊子」の発行等の重点事業を実施しました。



藤枝市社協キャラクター「キー坊」

基本理念

『地域で支え合う 元気・笑顔のまちづくり』

地域福祉を取り巻く環境は変化し、住民が抱えている福祉課題は、多様化、増加傾向にあります。そこで、ご近所のふれあいや見守りなどを通じた支え合いを育み、住民一人ひとりや地区社会福祉協議会、関連組織などが一体となって地域ぐるみで福祉を推進していく必要があります。

このことから、住民を自ら考えて行動する地域福祉の主役に位置づけ、地域課題に一人ひとりが関心を持ち、積極的に行動するとともに、地域のみんなで協力し合うことを目指します。



思いやりのある温かい地域を目指し、同じ地域に住むさまざまな人が交流しつながら
を持てるような、身近なふれあいの場づくりにみんなで取り組みました。
また、ご近所の助け合い活動を推進し、支え合いの輪を広げました。

◆具体的活動項目① 地区社協でご近所づくり

(1) 各種調査

地域住民が生活の中で何を必要としているのかを把握するため、「暮らしの調査」として3
地区の社会福祉協議会の協力を得て実施しました。

【稲葉地区社会福祉協議会】

調査実施時期：平成 27 年 1 月

調査対象数：843 票

回答数：744 票（回答率：88.3%）

【藤枝地区社会福祉協議会】

調査実施時期：平成 27 年 2 月

調査対象数：7,846 票

回答数：4,339 票（回答率：55.3%）

【大洲地区社会福祉協議会】

調査実施時期：平成 26 年 9 月

調査対象数：2,863 票

回答数：2,257 票（回収率：78.8%）

(2) 地域福祉懇談会

①地域福祉懇談会

地区社会福祉協議会単位や小地域単位で、今ある福祉課題の現状や地域内の生活課題につ
いて報告や話し合いを実施する中で、各地区社会福祉協議会や小地域が目指す方向性につい
て協議しました。

【瀬戸谷地区社会福祉協議会】平成 26 年 12 月 5 日

【葉梨地区社会福祉協議会】平成 26 年 9 月 24 日



(3) ふれあいサロン

地域福祉懇談会

住み慣れた地域で、日常的に集まり楽しいひと時を過ごすことができるよう、月1~4回でゲームやレクリエーションを地域のボランティアとともに楽しむ「ふれあいサロン」を9の地区社会福祉協議会により市内58カ所（高齢者53カ所、複合型1カ所、子育て3カ所、障害者1カ所）で開催しました。

《高齢者サロン実施状況》

地区	サロン数	備考 (対象エリア)
稲葉	2	谷稲葉、堀之内
葉梨	8	上藪田、下藪田、時ヶ谷第2・4、時ヶ谷第1・3、西北、第2自治会、高田、清里
広幡	7	仮宿、上当間、鬼島、下当間、水守、横内、潮
西益津	7	平島三、郡2、長楽寺2、平島一、田中3、平島二、平島四
藤枝	5	市部、藤岡、木町、原、五十海
青島	8	駿河台、青南町、田沼南、瀬古第3、新南新屋、芙蓉台、志太、瀬古第1,2
高洲	5	高柳切島、兵太夫中、与左衛門(2つ)、兵上第5
大洲	4	大東町、弥左衛門、泉町、県営青洲団地
岡部	7	第1自治会、第2(旧第2)自治会、第2(旧第3)自治会、第3自治会、第4自治会、第5(旧第6)自治会、第5(旧第7)自治会
計	53	

*この他、複合型サロンが葉梨地区で1カ所、子育てサロンが青島地区で2カ所、大洲地区で1カ所、障害者サロンが市内全域を対象に1カ所で実施されました。

(4) ふれあい会食会

一人暮らし高齢者のふれあいの場や高齢者福祉の向上となるよう、各地区の公民館等（8カ所）を会場に、毎月約1回、自治会や民生委員・児童委員、ボランティアの協力をいただき会食会を実施しました。

登録人数：一人暮らしの登録高齢者 156名

ボランティア 199名

内容：会食、血圧測定、健康相談、保健講座、交通安全講座、簡易健康体操、ゲーム、手芸、工作など

★効果

「暮らしの調査」を行ったことで、自分の住む地域で何が必要とされているのかを明確にでき、その結果をもとに話し合いを行った地域福祉懇談会では、課題を共有することができました。また、会食会やふれあいサロンの活動は、地域の居場所として利用者の励みとなり、喜ばれています。

◆具体的活動項目② ボランティアでご近所づくり

(1) ①話し相手ボランティア養成講座

話し相手を必要としていて外出が困難な人のため、希望者宅等に出向き「話し相手」となるボランティアを養成する講座を開催しました。

実施日：平成26年8月20・27日、9月3・5・10・24日 計7日

講師：筑波大学大学院博士後期課程 横山貴美子 氏

藤枝市地域活動支援センターきずな 柴山久義 氏

参加者：45名（修了者38名）

会場：文化センター



話し相手ボランティア養成講座

②話し相手ボランティア研修交流会

「話し相手ボランティア養成講座」を修了した人に対し、今後の活動に向けたステップアップと、活動期間が長くなるに従って出てくる悩みや疑問を解消する機会とするため、先駆的に活動されている「所沢話し相手ボランティアの会」の会員を招待して実施しました。

実施日：平成27年3月10日

講師：横山貴美子 氏

参加者：37名（所沢話し相手ボランティアの会4名を含む）

会場：生涯学習センター

(2) ふれあいサロンパワーアップ講座

地域で活動している高齢者ふれあいサロンボランティアを対象に、情報交換や情報収集、新しいレクリエーションの習得など、今後の活動を更に発展・活性化することを目指して開催しました。

実施日：平成27年1月28日

講師：聖稜リハビリテーション病院 リハビリテーション部 科長補佐 小原智永 氏
(リハビリのプロから教わる介護予防)

参加者：高齢者ふれあいサロンボランティア 87名

会場：生涯学習センター

★効果

各種ボランティアが新しい知識を習得することで、それぞれの活動に還元し、ボランティア活動をより充実させることができました。また、同じ活動をしている人と交流することで、日頃悩んでいたことの解決策を見出すことができました。

◆具体的活動項目③ 困っている人のお手伝いでご近所づくり

(1) 住民参加型在宅福祉サービス事業（「生活サポートサービス」キー坊大縁隊）

地域住民が参加し、住み慣れた地域でサポートを必要とする人に、日常生活のお手伝いを住民相互で助け合いながら、生活をサポートするサービスを提供することで、誰もが安心して暮らすことができる地域づくりを実現していくことを目的にした会員制の事業を行いました。

①利用状況

月	依頼件数	実施延べ件数	実働延べ時間	利用会員 実人数	サポーター 活動実人員
4月	74	97	98	23	20
5月	68	91	95	19	19
6月	84	106	104	26	21
7月	75	102	107	28	22
8月	65	90	75	25	23
9月	97	128	96	27	20
10月	93	121	103	26	22
11月	85	105	85	28	20
12月	109	119	121	34	26
1月	126	145	132	21	20
2月	103	129	103	25	20
3月	124	158	129	34	26
合計	1,103件	1,391件	1,248時間		

*主なサービス内容：利用者宅の日常的な清掃（居室、トイレ、キッチン、洗面所、風呂）、窓拭き、洗濯物干し・取り込み、家の周りの手入れ（草取り、花壇の水やり）、ゴミ出し 等

②利用会員・サポーター新規登録状況

利用会員登録状況		サポーター登録状況	
平成26年度 新規登録会員	27名	平成26年度 新規登録 男性	5名
退会会員	17名	女性	10名
平成27年3月31日現在登録者	65名	辞退	28名
		平成27年3月31日現在登録者	53名

③サポーター交流会

サポーターとしての心得及び知識・活動目的の再確認をし、活動目的の共有化を図ることを目的に実施し、各サポーターの活動内容をお互いに報告し合い、活動の共有化と、地域の困っている人の思いを確認する場をつくりました。

実施日：平成26年10月23日

参加者：14名

基本方針2 見守り・安心のある地域づくり



誰もが地域で孤立することなく、住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、身近で困っている人に気づき、適切な相談や支援につなげる体制づくりに努めました。

また、日頃から気にかけて合うことで、災害時などいざという時に助け合える関係を目指しました。

◆具体的活動項目① 地区社協で地域づくり

(1) 災害ボランティアセンター運営訓練

大規模災害が発生した時に、全国から集まるボランティアの活動をより円滑にするために、災害ボランティアセンターの運営訓練を実施しました。センターの運営には被災者のニーズ把握が必要となるため、参加者全員でニーズを確認してから訓練を実施しました。

実施日：平成 26 年 12 月 13 日（一般公開講座）

会 場：文化センター ホール

参加者：99 名

★効果

繰り返し訓練を行うことで、センター内の各役割を再確認でき、良い点と改善すべき点を明らかにすることができました。また、訓練を一般公開にすることで、被災した際に災害ボランティアセンターが開設されることを周知できました。

◆具体的活動項目② ボランティアで地域づくり

(1) ボランティア相談

ボランティア活動を希望されている人や、ボランティアを必要としている人の相談に応じ、調整を行うボランティアコーディネートをはじめとした、ボランティアに関するさまざまな相談に市社協事務局とふじえだボランティアビューローで対応しました。

ボランティア相談合計	96 件	内訳	ボランティア依頼 42 件 ボランティア希望 43 件 その他問い合わせ 11 件
------------	------	----	---

(2) 災害ボランティアコーディネーター養成講座

災害時のボランティア活動をより効果的なものにするために、調整役となるボランティアコーディネーターの養成講座を災害ボランティアコーディネーター藤枝（VCF）に委託し、実施しました。

実施日：平成 26 年 11 月 15 日、12 月 13 日（一般公開講座）

会 場：青島北公民館、文化センター

参加者：36名（修了者30名）

(3) 託児ボランティア養成講座

女性の社会進出や次世代を担う子育て世帯を支援する託児ボランティア養成講座を、藤枝託児ボランティアサークル、主任児童委員連絡会との共催により開催しました。

実施日：平成26年6月5・12・19・26日、7月3・10日 計6日

講師：市立病院小児科医師 香川二郎 氏

市子ども家庭相談センター 池谷いづみ 氏

市健康推進課 伊久美佳代 氏

託児ボランティアサークル

子育て支援センター 大村久江 氏

きのいい羊達

臨床発達心理士・保育士 岡村由紀子 氏

参加者：21名（修了21名）

会場：生涯学習センター



託児ボランティア養成講座

(4) その他

① ボランティア活動団体への支援

【藤枝市ボランティア連絡協議会】 定例会への出席

【災害ボランティアコーディネーター藤枝（VCF）】 定例会への出席

【高校生ボランティアサークル「ほおずき」】 定例会への出席、活動支援

【話し相手ボランティアサークル「えがお」】 定例会への出席、連携

② ボランティアビューローの運営

ボランティアビューローでは、ボランティアの活動の拠点として、ボランティア相談及びボランティア情報の提供等を行いました。

また、文化センターの2階に他の3団体とともに市民交流フロアを運営し、多くの人に利用していただきました。

◆具体的活動項目③ 困っている人のお手伝いで地域づくり

(1) 日常生活自立支援事業

認知症高齢者、知的障害や精神障害のある人等の中で、判断能力が不十分な人に対して、地域で安心して生活が送れるように、福祉サービスの利用手続きや公共料金の支払手続き、金銭管理等の援助支援を目的に、静岡県社会福祉協議会の委託により実施しました。

《相談援助状況》

(単位：件)

内容	本事業の利用に関するもの				その他	合計
	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	その他		
問合せ件数	15	5	14	6	5	45
初回相談件数	8	1	8	3		20
相談援助件数	287	598	1,257	388		2,530
合計	310	604	1,279	397	5	2,595

《利用者の状況》

(単位：名)

内 容	合 計	対 象 者			
		認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	その他
利用者数	35	7	8	12	8
(うち貸金庫利用者)	8	1	3	1	3
H26 年度新規契約者	9	3	1	4	1
H26 年度解約者	5	2	1	1	1
	解約の事由：市外移管 1、成年後見制度利用 4				
利用料	1,000 円／支援（生活保護世帯は自己負担なし）金庫代 300 円／月				
生活支援員	8				

(2) 専門機関との情報交換会

困難・複雑なケースの生活課題の解決には、各専門機関の連携強化が求められているため、各専門機関同士、情報交換や知識の共有・人的ネットワークの構築を目的に情報交換会を開催しました。

- ・第 32 回 平成 26 年 5 月 22 日 内容：生活福祉資金等について、事例検討
- ・第 33 回 平成 26 年 7 月 8 日 内容：印章について
- ・第 34 回 平成 26 年 9 月 9 日 内容：事例検討
- ・第 35 回 平成 26 年 11 月 13 日 内容：転用問題について、情報交換
- ・第 36 回 平成 27 年 1 月 20 日 内容：障害者権利条約について
- ・第 37 回 平成 27 年 3 月 12 日 内容：事例検討

(3) 社協の広域における法人後見等検討会

県社協の呼びかけにより、焼津市社協・島田市社協・弁護士会・司法書士会・社会福祉士会等で志太地域における市民後見を見据えた法人後見のあり方についての検討会が開かれ、出席しました。

- ・第 1 回 平成 26 年 6 月 2 日 内容：県社協の考え方、課題抽出
- ・第 2 回 平成 26 年 6 月 26 日 内容：3 市社協による法人後見像について
平成 26 年 8 月 4 日 富士市成年後見支援センター視察
- ・第 3 回 平成 26 年 8 月 11 日 内容：今後のスケジュール、検討会の今後について
- ・第 4 回 平成 27 年 3 月 17 日 内容：運営委員会設置要綱、法人後見実施要綱の検討

(4) 福祉総合相談

①ふくし相談

市社協事務局に相談員を配置し、住民の抱えるさまざまな問題等に広く対応を図り、適切なサービスや機関、制度等の福祉情報を住民に提供しました。

開催日：毎週月～金曜日 午前 8 時 30 分～午後 5 時

会 場：福祉センターきすみれ

《相談状況》

(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
相談件数	133	180	137	123	146	174	172	122	114	200	153	180	1,834

②結婚相談

・結婚相談所の開設

結婚を考えている独身の男性・女性を対象に結婚相談所を開設しました。

相談員：民生委員・児童委員等（5名）

開催日：毎月第2・4日曜日、第3水曜日 午前10時～午後3時（開設日数：35日）

会 場：福祉センターきすみれ

《相談状況》

(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
相談件数	52	50	39	50	38	50	49	35	23	43	37	74	540
新規登録者	4	4	4	10	3	4	3	1	0	5	11	14	63

相談者構成 男性 374名、女性 166名（結婚成立件数：相談所内0組、外部との成立10件）

・出会いパーティー等の開催

定期的な相談所開設のほか、結婚に向けての出会いの機会を提供しました。

【であいDEトレジャー】

市内在住または在勤の人を優先に結婚適齢期の男女(30～45歳)を対象として行いました。

実施日：平成27年2月22日

会 場：ItalianバルALMO

参加者：男性21名、女性20名 カップル成立3組

【はぴ♥るむ】

市社協結婚相談所の登録者を対象に、気軽な出会いの場として行いました。

実施日：平成27年3月22日

会 場：福祉センターきすみれ

参加者：男性18名、女性6名

(5) 各種資金貸付事業

低所得世帯や障害者世帯等に対して、経済的自立と生活意欲の助長促進を図り、安定した生活を営むことを目的に、緊急かつ一時的費用として生活費、教育費、医療費等の資金貸付を行いました。

①小口資金貸付（生活費、教育費、医療費など 貸付限度額10万円 無利子）

貸付件数 16件 貸付金額 920,000円

②高額療養費貸付（無利子）

貸付件数 53件 貸付金額 13,770,711円

③生活福祉資金の貸付（静岡県社会福祉協議会資金取次）

総合支援資金	0 件	0 円
福祉資金	3 件	2,340,000 円
教育支援資金	3 件	2,133,000 円
緊急小口資金	7 件	637,000 円
臨時特例つなぎ資金	1 件	50,000 円
災害特例緊急小口資金	0 件	0 円
計	14 件	5,160,000 円

(6) 援護事業

①法外一時扶助（生活費、住宅費、医療費）		3 件	31,023 円
②災害援護（住居火災等）	全焼	10 件	500,000 円
	床上浸水	10 件	100,000 円
③旅費欠援護（JR切符）	藤枝-静岡間	8 件	3,280 円
	藤枝-菊川間	3 件	1,230 円

※平成 26 年度をもって旅費欠援護事業は終了。

④緊急食糧支援（米、缶詰、味噌汁等）	29 件
--------------------	------

※支援用の食糧については、市社協での準備に加え、NPO 法人フードバンクふじのくにとの協力をいただき支援活動を行いました。

(7) 歳末年越し支援金

平成 26 年度歳末たすけあい募金から、生活困難なために支援を必要としている世帯に対して、支援金を助成しました。9 月 20 日号のふじえだ社協だより「ふれあいねっとわーく」No.180 や公共施設の情報コーナーで住民に助成金申請手続きの周知を行うとともに、各地区民生委員・児童委員協議会へ申請手続きの説明に伺いました。

対象世帯・人数	437 世帯 829 人
小中学校入学	11 人
助成額合計	4,046,140 円（諸経費含む）

★効果

さまざまな状況におかれた人たちが、少しでも安心して住み慣れた地域で暮らすことができるよう支援しました。日常生活自立支援事業では、生活費等の管理により心的にも安定的な暮らしを支えることができ、各種資金貸付では生活保護までのつなぎ期間や生活の立て直しの一部に貢献しました。

基本方針3 サービスを利用しやすい環境づくり



支援を求める人が地域で必要な支援を受けられるように、関係者の協力を得ながら、福祉に関する情報提供を充実し、多くの人にそれを知ってもらう取り組みを進めました。また、サービスの適切な利用につながる環境づくりを目指しました。

◆具体的活動項目① 地区社協で環境づくり

(1) 地域福祉講演会

今年度より、「大人のための福祉講座」の1講演として組み込み実施しました。

◆具体的活動項目② ボランティアで環境づくり

(1) 送迎サービス事業

①福祉車両貸出

下肢に障害があり歩行が困難な方の社会参加促進を図るため、市社協が有する福祉車両の貸出と、運転する人がいない場合に社協に登録する運転ボランティアの活動調整をしました。(走行距離に応じ燃料は各自負担)

《利用状況》 運転ボランティア：21人、車両台数：3台 (単位：件)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
貸出	22	21	22	23	21	25	19	22	23	17	25	30	270
ボランティア調整	13	15	18	12	13	9	10	3	10	5	10	7	125

②登録運転ボランティア情報交換会

市社協に登録している運転ボランティアにより、各々の活動についての情報交換・今後の送迎サービス事業について意見を伺いました。

【第1回】 開催日：平成26年12月16日

会 場：在宅福祉センター

参加者：6名

【第2回】 開催日：平成27年3月17日

会 場：在宅福祉センター

参加者：9名

★効果

利用者の立場に立って、より使いやすいものにするために、平成27年度実施に向けて要綱の改正を行うことができました。また、個々のボランティア活動者の調整役もボランティアに担っていただけよう、話し合いを重ねました。

◆具体的活動項目③ 困っている人のお手伝いで環境づくり

(1) しあわせ宅配便 ～電話1本で頼めるサービスガイド～

昨年度作成した「外出支援マップ」。その作成過程でアンケート調査や検討委員から「外出支援マップだけでなく、宅配の冊子があるとうれしい」という意見があり、その要望にお応えする形で作成、発行しました。今後は、「外出支援マップ」と合わせ、より多くの住民に配布し、市内の福祉推進に役立てていきます。

第1回作成委員会 開催日：平成26年7月23日
会 場：福祉センターきすみれ
内 容：委嘱状交付、意見交換等

第2回作成委員会 開催日：平成27年2月18日
会 場：福祉センターきすみれ
内 容：店舗等への申込書の内容について等

(2) 車いすの貸出

高齢者や障害のある人の在宅生活支援のため、車いすの貸出を行いました。また、福祉体験学習を行う学校やボランティア団体に対しても車いすの貸出を行いました。

《貸出状況》

保有台数	長貸出(1カ月超)件数	短貸出(1カ月以内)件数
102台	19件	60件

(3) その他

①障害者社会参加促進事業

視覚に障害のある人の社会参加促進を図るため、ボランティア団体の協力をいただき「ふじえだ社協だより」、「広報ふじえだ」、「藤枝市議会だより」の声の広報及び点字広報を作成し配付しました。

- ・声の広報作成事業 協力団体…サークルふじ
(ふじえだ社協だより7回、市広報24回、市議会だより4回)
- ・点字広報作成事業 協力団体…ピッコラ、点訳サークル ひまわり
(ふじえだ社協だより7回、市広報24回、市議会だより4回)

②藤枝市障害者スポーツ大会

藤枝市身体障害者福祉協会と市自立支援課との共催で、その会員と市内の通所型障害者福祉サービス事業所を利用する人を対象に、第 50 回記念のスポーツ大会を開催しました。この大会を通じ、参加者の交流の場を提供するとともに、広く大会運営のボランティアを募り、地域の施設・障害者への理解につなげました。また、協賛企業を公募することで、企業の社会貢献の場を提供し、地元企業との連携強化に努めました。

開催日：平成 26 年 10 月 18 日

会 場：藤枝市民体育館

参加者：257 名

協力者： 76 名



藤枝市障害者スポーツ大会

★効果

昨年度「外出支援マップ」の作成過程にあがった要望に対応し、「しあわせ宅配便」を発行できたことは一つの成果でした。「しあわせ宅配便」が社協だよりや新聞に掲載された後、利用希望の人から問合せがありました。作成・発行したという事実にとどまらず、今後、これらをどう配付し、活用していただけるように仕掛けていくかが重要です。

◆具体的活動項目④ 情報提供で環境づくり

(1) ふじえだ社協だより

社会福祉に関する住民の理解と協力を得るため、「ふじえだ社協だより」として、No.177～183 を発行し、市内全戸に配布し啓発を図りました。

(2) ホームページ

ホームページ内を見直し改訂するとともに、更新を随時行い情報提供の充実に努めました。

(3) 健康福祉大会

① 藤枝市健康福祉大会

多年にわたり健康福祉の増進に尽力された人への表彰と、広く住民に健康・福祉の啓発を行うことを目的に、市福祉政策課との共催で開催しました。

開催日：平成 26 年 9 月 27 日

参加者：約 600 名

会 場：市民会館ホール

内 容：表 彰 大会会長表彰（9 名）

社協会長表彰（11 名、2 団体）、社協会長感謝状（3 名、9 団体）

厚生労働大臣感謝状伝達（1 名）

オープニング（藤枝音羽幼稚園による鼓笛）

活動報告「共生～思いやりの心を育もう～」(市立広幡中学校 1 年生)

記念講演「笑顔の戦士～生きているって幸せ～」

講師：道志真弓 氏（元フリーアナウンサー・前熊本市人権教育講師）



藤枝市健康福祉大会

広幡中学校 1 年生による活動報告

② 静岡県健康福祉大会

平成 26 年度静岡県健康福祉大会が 10 月 24 日、静岡市民文化会館において開催され、当市より県社協会長表彰（民生委員・児童委員 1 名、法人役員・事業所従事者 11 名、社会福祉関係団体役員・従事者 3 名、社会福祉事業協力者 7 団体・2 名）が受賞されました。また、県共同募金会会長表彰（募金ボランティア 2 団体）が受賞されました。

(4) その他

社協だよりモニター会議

社協だよりに関するご意見・ご感想をいただき、広報活動の充実・向上を目的に、年 6 回開催しました。なお、本事業は今年度をもって終了しました。

★効果

ふじえだ社協だよりやホームページでは、モニター会議での意見を踏まえ、文章の量や文字の大きさに配慮しながら作成することができました。表彰や活動の報告の機会、お互いに活動を認め合う場として、また、一度立ち止まって活動を振り返る、そして、今一度動き出す機会として効果的でした。

基本方針4 地域福祉を推進する仕組みづくり



お互いに助け合える地域をつくるため、一人ひとりが地域福祉に関心を持ち、理解を深める取り組みを進めました。

また、関心・理解を行動に移し、多くの人ボランティアやNPOなどの地域福祉の活動に積極的に参加できるような仕組みづくりに努めました。

◆具体的活動項目① 地区社協で仕組みづくり

(1) 地区社会福祉協議会役員連絡会

第1回 開催日：平成26年6月5日

会 場：生涯学習センター

内 容：地区社会福祉協議会を担う役員を対象に、地域福祉を推進していくうえで重要となる地区社会福祉協議会についての説明等を行いました。

第2回 開催日：平成26年12月12日

会 場：福祉センター きすみれ

内 容：9月に行った視察研修の振り返りと、地区社会福祉協議会の組織体制の検討を行いました。

第3回 開催日：平成27年3月6日

会 場：福祉センター きすみれ

内 容：平成26年度の各地区の活動の振り返りと報告を行い、地域福祉アドバイザーから総括をいただきました。また、平成27年度の各地区の取り組みや第4次地域福祉活動計画策定のための協力を依頼しました。

(2) 視察研修

平成26年9月21日、理事専門部会で組織する事業運営部会と合同で、沼津市第一地区社会福祉協議会を視察し、自治会・町内会または民生委員・児童委員との関わりや組織のあり方、企画委員会の役割等について学びました。

(3) 地域福祉アドバイザー

地域福祉推進を効果的に実施するために配置し、地域福祉活動計画推進懇話会々長の山本伸晴氏に委嘱しました。日頃の地域福祉活動の相談、助言や地区社会福祉協議会役員会への出席、視察研修に同行していただき、総合的な支援をいただきました。

(4) その他

①地区社会福祉協議会総会の実施

平成26年4月～6月にかけて、10地区で実施されました。全ての地区社会福祉協議会で、地域福祉活動計画に伴う行動目標・行動方針の周知協力について職員から説明を行いました。

②地区社会福祉協議会地域福祉促進事業

各地区社会福祉協議会に、地域からの意見を反映した新しい要綱に従ってメニュー選択による福祉事業（ふれあいまつりや地区社会福祉協議会だよりの発行等）に対しての助成を行いました。

《地区社会福祉協議会メニュー選択事業》

地 区	事 業	内 容
瀬戸谷地区	①地区ふれあいまつり ③地区社会福祉協議会だよりの発行等 ⑤ジュニア福祉委員活動	②地域福祉懇談会 ④三世代交流グラウンドゴルフ大会
稲葉地区	①地区ふれあいまつり ③地区社会福祉協議会だよりの発行等 ⑤住民福祉講演会 ⑦三世代交流グラウンドゴルフ大会	②調査事業 ④ジュニア福祉委員活動 ⑥介護予防講座
葉梨地区	①地区ふれあいまつり ③地区社会福祉協議会だよりの発行等 ⑤福祉講演会	②地域福祉懇談会 ④三世代交流グラウンドゴルフ大会
広幡地区	①地区ふれあいまつり ③子ども福祉講座 ⑤ボランティア連絡会	②地区社会福祉協議会だよりの発行等 ④三世代交流グラウンドゴルフ大会
西益津地区	①地区ふれあいまつり ③子ども福祉体験 ⑤住民福祉懇談会 ⑦スポーツフェスタ	②地区社会福祉協議会だよりの発行等 ④福祉講演会 ⑥三世代交流歩け歩け運動
藤枝地区	①地区ふれあいまつり ③地区社会福祉協議会だよりの発行等 ⑤ふれあいグラウンドゴルフ大会 ⑦干支の土人形と折紙の鳳凰づくり	②調査事業 ④児童福祉体験 ⑥福祉講演会 ⑧サロン・会食会従事者交流会
青島地区	①地区ふれあいまつり ③ふれあい餅つき大会 ⑤赤ちゃんとのふれあい ⑦おふくろの味を学ぶ	②地区社会福祉協議会だよりの発行等 ④敬老の日に贈る「作文・似顔絵」 ⑥米寿を迎える方に贈る絵手紙
高洲地区	①地区ふれあいまつり ③住民福祉講座 ⑤高齢者友愛訪問活動	②地区社会福祉協議会だよりの発行等 ④子ども福祉講座
大洲地区	①地区社会福祉協議会だよりの発行等 ③地区社会福祉協議会だよりの発行等 ⑤スポーツのつどい	②調査事業 ④ジュニア福祉委員活動
岡部地区	①地区ふれあいまつり ③子ども福祉講座 ⑤高齢者友愛訪問事業	②地区社会福祉協議会だよりの発行等 ④住民福祉講座

★効果

継続して地区社会福祉協議会の活動を行うこと、組織運営を円滑に行うことの解決策を探る目的で行った視察研修は、その後の役員連絡会を踏まえて、各地区社会福祉協議会が工夫して、退任した人を別の形で活動に携わっていただくよう配置するなどの結果につながりました。

◆具体的活動項目② ボランティアで仕組みづくり

(1) ボランティア登録

	団 体 活 動 者		個 人 活 動 者	計
	団 体 数	人 数		
ボランティア数	187 団体	4,408 人	255 人	4,663 人

(2) ボランティア保険

ボランティア活動中の不慮の事故に備え、安心してボランティア活動ができるように、ボランティア登録者に対して、ボランティア活動保険・ボランティア行事用保険の加入促進を行いました。

① ボランティア活動保険

加入者数 合計 3,198 人 (個人負担 1,360 人・社協負担 1,838 人)

② ボランティア行事用保険

加入件数 56 件 (加入者数 5,406 人)

◆具体的活動項目③ 困っている人のお手伝いで仕組みづくり

(1) 福祉施設ボランティア担当者研修会

福祉施設のボランティア担当者を対象に、ボランティアを受け入れる際の注意点や、ボランティア募集を行うにあたり気をつけることを学び、スキルアップを図ることを目的に開催しました。

実施日：平成 27 年 1 月 23 日

講 師：日本ボランティアコーディネーター協会 運営委員 疋田恵子 氏

参加者：12 名

会 場：青島北公民館

★効果

ボランティアの受入れまでの流れやプログラム、ボランティア希望者のニーズ等を知ってもらうことができました。また、交流の中で各施設のボランティアの状況等の情報交換を行い、ボランティア受け入れの推進を図ることができました。

◆具体的活動項目④ 福祉教育で仕組みづくり

(1) 地域講師研修会

市内で地域講師を担っていただいている人を対象に研修会を行い、市内で福祉教育活動を行う際の視点について共通理解を深めました。

【第1回】 実施日：平成26年5月3日

参加者：16名（地域講師）

会 場：生涯学習センター

内 容：福祉教育推進マニュアル（改訂版）～実践の中で大切にしてもらいたいこと～の説明

【第2回】 実施日：平成27年3月10日

参加者：17名（地域講師）

会 場：生涯学習センター

内 容：今年度の学校での福祉教育について（実践報告・グループワーク）

(2) 福祉教育実践校

児童・生徒の社会福祉への理解と関心を高め、社会奉仕の実践と社会連帯の精神を養い、児童・生徒を通じて家庭及び地域社会の啓発を図ることを目的に、継続的に実践校を指定し、事業推進に努めました。

・市内公立小中学校全27校

・高等学校4校（藤枝北高、藤枝西高、静清高、藤枝東高） 合計31校

(3) 福祉教育実践校連絡会

福祉教育担当の教職員を対象に福祉教育を実践する際に大切にしてもらいたいことを伝える講座や、他校との情報交換を通してよりよい福祉教育が実践されるように連絡会を行いました。

【第1回】 実施日：平成26年6月16日

参加者：31名（教員・学校教育課）

会 場：生涯学習センター

内 容：福祉教育推進マニュアル（改訂版）～実践の中で大切にしてもらいたいこと～の説明

【第2回】 実施日：平成27年2月24日

参加者：17名（教員・学校教育課）

会 場：福祉センターきすみれ

内 容：今年度の福祉教育実践を振り返って（情報交換）

(4) 各種資格の現場実習受入体制

地域に存在する社会福祉法人の使命と、将来を担う福祉専門職を育成するため、相談援助実習等の受入をしました。

①社会福祉士

- ・平成26年8月1日～18日(12日間)／静岡福祉医療専門学校 1名
- ・平成26年8月1日～9月3日(24日間)／日本福祉大学 1名

②介護福祉士等

- ・平成26年5月19日～7月18日(22日間)／静岡福祉大学 11名
- ・平成26年10月16日～10月31日(14日間)／県立清流館高等学校 7名
- ・平成26年8月19日～9月26日(12日間)／東海福祉専門学校 6名

③看護師

- ・平成26年5月13日～20日(6日間) 中部看護専門学校 3名
- ・平成26年6月18日～6月25日(6日間)／中部看護専門学校 3名
- ・平成26年9月5日～12日(6日間) 中部看護専門学校 3名
- ・平成27年3月6日／県看護協会 藤枝市立総合病院 1名

④職場実習

- ・平成26年6月2日～6日(5日間)／沼津聴覚障害者特別支援学校 1名

(5) 中・高校生福祉体験

中学生・高校生を対象に、体験学習や交流を通して福祉に対する理解や関心を深め、自分のできる福祉活動への第一歩となるよう、さまざまな分野の福祉に関する講座を実施しました。

【夏スペ☆THE☆ふくし】

実施日：平成26年8月1・5・8日

(スペシャル・レクコース 計3日間)

平成26年8月1・6・8日(ふれあいキッズコース計3日間)

参加者：中学生・高校生33名、南部すみれの家(利用者・職員)35名、いないいないばあ(親子・ボランティア)55名

講師：地域福祉アドバイザー、レクリエーション講師、子育て支援センター(にこにこ広場、ちびっこルーム)74名

夏スペ☆THE☆ふくし
ふれあいキッズコース



(7) 大人のための福祉講座

日頃、福祉学習の機会が少ない社会人を対象に現在の地域福祉課題にスポットをあて、地域社会が抱えている問題について認識を深め、社会参加の第一歩となるよう講座を開催しました。

【第1回】 実施日：平成27年2月15日

会 場：静岡産業大学 ウィステリアホール

内 容：地域が今、あなたの力を求めています ～これからの時代は地域福祉～

講 師：(福)藤枝市社会福祉協議会 地域福祉アドバイザー 山本伸晴 氏

参加者：48名

【第2回】 実施日：平成27年2月18日

会 場：静岡産業大学 ウィステリアホール

内 容：「刑事事件をどう考えるか ～もしも裁判員に選ばれたら～」

講 師：静岡合同法律事務所 弁護士 佐野 雅則 氏

参加者：46名

【第3回】 実施日：平成27年2月28日

会 場：静岡産業大学 ウィステリアホール

内 容：「生活困窮者支援を通じた地域づくり」

講 師：NPO法人 POPOLO 鈴木 和樹 氏

参加者：58名



大人のための福祉講座

「生活困窮者支援を通じた地域づくり」

(8) 出前講座

市社協が地域や施設、企業等に伝えることのできる内容を、出前講座として4件実施しました。

(9) その他

①ジュニア福祉委員活動

思いやりの心を育てることを目的に、瀬戸谷・稲葉・大洲の各地区社会福祉協議会より瀬戸谷小学校6年生・稲葉小学校6年生・大洲小学校5・6年生を「ジュニア福祉委員」に委嘱し、地域の一人暮らし高齢者やサロン等への訪問を実施しました。

★効果

福祉教育は社協事業の根幹であり、そこからボランティア活動につながったり、認知症等を含めたありのままの個人を認められる社会づくりにつながったりします。幼い頃から繰り返し実施することでその時々を感じ方が異なることから、年間を通じていろいろな形で仕掛けることができました。

組織運営体制及び財政基盤強化への取り組み

地域福祉活動の中核を担う団体として、住民から信頼され、質の高いサービスを提供していくために、住民の皆さんとともによりよい地域社会づくりを目指して、その組織・機能を充実強化しました。

また、財源基盤の拡充を図るとともに、会員制度の普及と拡大に努めました。

(1) 理事会・評議員会

市社協の運営体制は、各団体からの参画をいただき理事（定数 15 名）及び評議員（定数 31 名）で構成され、役員会の運営のもと各事業執行を行いました。

①理事会の開催状況

開催日	審議事項
平成 26 年 4 月 1 日 (第 1 回)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 藤枝市社会福祉協議会会長の選任について 2. 藤枝市社会福祉協議会副会長の選任について 3. 藤枝市社会福祉協議会評議員の同意について
平成 26 年 5 月 29 日 (第 2 回)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 平成 25 年度藤枝市社会福祉協議会事業報告の認定について 2. 平成 25 年度藤枝市社会福祉協議会一般会計資金収支決算の認定について 3. 平成 25 年度藤枝市社会福祉協議会公益事業特別会計資金収支決算の認定について 4. 藤枝市社会福祉協議会定款の一部改正について 5. 藤枝市社会福祉協議会指定障害児相談支援事業所運営規程の制定について
平成 26 年 8 月 26 日 (第 3 回)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 平成 26 年度藤枝市社会福祉協議会一般会計資金収支補正予算（第 1 号）について 2. 藤枝市社会福祉協議会会長表彰の選考について 3. 藤枝市社会福祉協議会事務局規程の一部改正について
平成 27 年 2 月 9 日 (第 4 回)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 藤枝市社会福祉協議会評議員の同意について 2. 藤枝市社会福祉協議会定款の一部改正について 3. 藤枝市社会福祉協議会経理規程の全部改正について 4. 藤枝市社会福祉協議会資金運用規程の制定について 5. 藤枝市社会福祉協議会各種規程の一部改正について
平成 27 年 3 月 23 日 (第 5 回)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 平成 26 年度藤枝市社会福祉協議会一般会計資金収支補正予算（第 2 号）について 2. 平成 27 年度藤枝市社会福祉協議会事業計画について 3. 平成 27 年度藤枝市社会福祉協議会会計資金収支予算について 4. 藤枝市社会福祉協議会各種規程の一部改正について 5. 平成 26 年度指導監査に係る改善指導事項に対する是正・改善計画について

②評議員会の開催状況

開催日	審議事項
平成 26 年 5 月 30 日 (第 1 回)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 平成 25 年度藤枝市社会福祉協議会事業報告の承認について 2. 平成 25 年度藤枝市社会福祉協議会一般会計資金収支決算の承認について 3. 平成 25 年度藤枝市社会福祉協議会公益事業特別会計資金収支決算の承認について 4. 藤枝市社会福祉協議会理事の選任について 5. 藤枝市社会福祉協議会定款の一部改正について 6. 藤枝市社会福祉協議会指定障害児相談支援事業所運営規程の制定について
平成 26 年 8 月 29 日 (第 2 回)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 藤枝市社会福祉協議会監事の選任について 2. 平成 26 年度藤枝市社会福祉協議会一般会計資金収支補正予算(第 1 号)について 3. 藤枝市社会福祉協議会事務局規程の一部改正について
平成 27 年 2 月 21 日 (第 3 回)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 藤枝市社会福祉協議会定款の一部改正について 2. 藤枝市社会福祉協議会経理規程の全部改正について 3. 藤枝市社会福祉協議会資金運用規程の制定について 4. 藤枝市社会福祉協議会各種規程の一部改正について
平成 27 年 3 月 26 日 (第 4 回)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 平成 26 年度藤枝市社会福祉協議会一般会計資金収支補正予算(第 2 号)について 2. 平成 27 年度藤枝市社会福祉協議会事業計画について 3. 平成 27 年度藤枝市社会福祉協議会会計資金収支予算について 4. 藤枝市社会福祉協議会各種規程の一部改正について 5. 平成 26 年度指導監査に係る改善指導事項に対する是正・改善計画について

③三役会

- 第 1 回：平成 26 年 5 月 21 日 平成 26 年度社協事業の取り組みについて 等
 第 2 回：平成 26 年 8 月 22 日 補正予算、市社協会長表彰の選考について 等
 第 3 回：平成 27 年 2 月 3 日 理事会・評議員会、各種規定の一部改正について 等
 第 4 回：平成 27 年 3 月 16 日 理事会・評議員会、社協の組織について 等

(2) 事業・会計監査

- 平成 26 年 5 月 23 日 平成 25 年度社協事業及び一般・特別会計の決算監査
 平成 26 年 5 月 28 日 財政援助団体等監査
 平成 26 年 11 月 5 日 市実施の社会福祉法人指導監査
 平成 26 年 11 月 27 日 平成 26 年度市社協事業及び一般会計・特別会計の上半期監査

(3) 役員研修会

社協活動を担う役員の研修会を、講師に社会福祉法人・学校法人 天竜厚生会 理事長 山本 たつ子 氏 を招き「社会福祉法人における役員のあり方と地域との関わりについて」をテーマに講演会を実施しました。

実施日 平成 26 年 6 月 27 日
会 場 小杉苑
参加者 理事・監事・評議員 34 名

(4) キャラクター（キー坊）による PR 活動

社協キャラクター キー坊の着ぐるみを活用し、併せてキャラクターグッズ等を関係者等に広く配布し、PR 活動に努めました。

活動日	催事名	活動内容
8 月 22 日	ゆるキャラ®グランプリ 2014	エントリー
9 月 7 日	子育てフェスタ	ステージイベント 等
9 月 9 日	ゆるキャラ®グランプリ 2014 応援イベント『みんなで仲良く出陣じゃ!!』	ステージイベント、フォトセッション、グリーティング 等
9 月 20 日	特別養護老人ホーム 菜の花まつり	ステージイベント 等
9 月 27 日	市健康福祉大会	式典でのオープニング 等
10 月 1 日	ゆるキャラ®グランプリ 2014 投票促進 PR 活動（結果：464 位／1,699 件中）	グッズ・チラシ配布による PR 活動
10 月 1 日 ～3 日	市役所ロビー展	パンフレット、チラシの配布、ディスプレイによる事業紹介 等
11 月 15 日	南部すみれまつり	じゃんけんゲーム 等
11 月 22 日	共生社会	じゃんけんゲーム 等
2 月 8 日	静清高等学校「静清書展」	ステージイベント 等
3 月 8 日	掛川市社協児童交流館まつり	ステージイベント 等

※その他、地区ふれあいまつり（瀬戸谷・広幡・西益津・青島南・大洲）、赤い羽根共同募金街頭募金（10 月）においても、キー坊による PR 活動を実施しました。

(5) 専門部会

社協の将来展望を見据え、研究・協議をするため、理事が部会員となり専門部会を開催しました。

①法人運営部会

- ・開催日：平成 26 年 7 月 31 日
内 容：地区社会福祉協議会運営助成金について
- ・開催日：平成 26 年 12 月 1 日（合同専門部会）
内 容：生活困窮者自立支援法における自立相談支援事業の一部受託について 等

②事業運営部会

- ・開催日：平成26年7月30日
内 容：第3次地域福祉活動計画の実状況について
ふじえだ生き生き助成金について
- ・開催日：平成26年9月21日（地区社会福祉協議会役員と合同）
内 容：先進地視察／沼津市第一地区社会福祉協議会
- ・開催日：平成26年12月1日（合同専門部会）
内 容：生活困窮者自立支援法における自立相談支援事業の一部受託について 等

(6) 市社協会員の加入促進

市社協は、全戸会員制をとり住民の皆様に会員になっていただく普通会員と賛助、施設、団体、特別会員に区分を分けて個人・施設・団体・企業等の対象ごとに会員の加入促進を図り、福祉活動資金の確保に努めました。

区 分	人 員	口数	金 額	備 考
普通会員	42,956 戸	42,956 口	17,183,310 円	1 戸年額 400 円
賛助会員(個人)	129 人	837 口	837,000 円	1 口 1,000 円
施設会員(施設)	35 施設	35 口	175,000 円	1 口 5,000 円
団体会員(団体)	19 団体	20 口	60,000 円	1 口 3,000 円
特別会員(企業等)	29 団体	35 口	105,000 円	1 口 3,000 円
合 計			18,360,310 円	

*普通会員で1戸あたり400円でない地区がありましたので、端数が生じています。

(7) 福祉関係団体事業助成

福祉団体の育成・支援を図るために、4団体に対して1,082,000円の助成を行いました。

(8) 公費財源の確保

安定的な財源の確保がなされるよう、行政の主管課である福祉政策課と事業運営等についての意見交換を行いました。

(9) ふじえだ生き生き助成金

共同募金助成金により、市内で行われている地域福祉推進のために実施される事業を支援することを目的に、審査会を経て助成しました。

- 第1回審査会 平成26年 6月23日
審査対象団体 21 団体 助成決定額 1,224,000 円
- 第2回審査会 平成26年 11月25日
審査対象団体 4 団体 助成決定額 206,000 円

(10) 職員研修会

職員の職務意識向上と専門知識を深めるため、外部研修への参加や内部研修を実施しました。

外部研修	市町社会福祉協議会生活福祉資金担当者会議、市町社会福祉協議会中核リーダー研修、静岡県地域福祉教育推進セミナー、生活困窮者自立支援法に関する事業受託社協連絡会、居場所づくり市町職員等研修会、社会福祉協議会のための法人後見実務研修、社会保険労務士による雇用・労務に関する講習会、市民後見推進にむけた社協権利擁護・法人後見研修、地域ケア会議活用推進研修、ファシリテーター養成研修、静岡県精神障害者地域移行定着推進研修、相談支援従事者初任者研修、小児訪問看護研修、障害児・者福祉サービス事業者説明会、てんかん専門職セミナー 等
内部研修	平成 26 年度重点事業について、社協の財政状況について、ヘルパー研修(月 1 回)、放課後児童クラブ指導員研修会 等

(11) 善意銀行の運営

①市社協が行う、地区社会福祉協議会・ボランティア活動等への社会福祉事業の推進を目的に寄せられた金品を公正に管理し、目的に合った運営を行いました。

《善意銀行預託状況》

指 定 寄 付		現 金		物 品	
件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	内 容
4 件	101,965 円	81 件	2,380,649 円	335 件	プラグ・使用済切手等

(12) 地域福祉活動計画推進懇話会の開催

地域福祉活動計画推進懇話会を開催し、第 3 次地域福祉活動計画の進行管理を行いました。

【第 1 回】 実施日：平成 26 年 10 月 30 日

【第 2 回】 実施日：平成 27 年 3 月 13 日

(13) 福祉サービス苦情解決事業

広く皆様からのご意見を伺うため、市社協で運営している各施設に『皆様の声』の意見箱を設置して苦情等の受付をしました。

《年間状況》

苦情件数	苦情受付	苦情内容	結果
10	電 話 訪問時 来所時	<ul style="list-style-type: none"> ・結婚相談の対応について (2 件) ・児童クラブの運営及び保育関係について (3 件) ・ヘルパー利用者に対する職員の対応について (1 件) ・歳末たすけあい募金の領収書について (1 件) ・職員の窓口対応について (1 件) ・福祉車両の利用について (1 件) ・施設利用者の契約中止について (1 件) 	解決

在宅福祉センター事業の充実

高齢者や障害者の皆さんが、在宅で安心していきいきと暮らしていくために、介護保険法や障害者総合支援法等に基づいて事業を実施しました。

また、適切な運営を図るとともに、利用者の立場に立った介護・医療のサービスを提供し、経営の安定化を目指しました。

(1) 介護保険事業

① 居宅介護支援事業

介護保険制度では、利用者やその家族が介護認定結果に基づき、各種サービスを利用するためには、居宅サービス計画を作成することが前提となります。

市社協では、介護支援専門員（ケアマネジャー）を配置して、利用者と各サービス事業所との連絡調整を図り、利用者の主体性を重んじたサービス計画（ケアプラン）の作成に努めました。

《居宅介護サービス計画作成状況》

(単位:件)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	156	154	156	153	147	150	143	144	144	143	142	144	1,776
委託件数	5	5	5	4	4	5	7	8	7	7	8	7	72

② 訪問介護事業

介護保険の認定を受けた要介護高齢者等に対して、居宅介護サービス計画のもとで、利用者の能力に応じ自立した日常生活を営むことができるように、訪問介護員が利用者宅を訪問し、身体介護、生活援助等のサービスを提供しました。

《訪問介護活動状況》

	利用者数	回数				提供時間
		身体介護	身体生活	生活援助	計	
4月	51	479	59	205	743	608時間15分
5月	51	480	60	208	748	610時間15分
6月	50	464	46	203	713	578時間30分
7月	51	501	61	217	779	645時間45分
8月	46	434	58	205	697	578時間45分
9月	48	474	64	192	730	596時間45分
10月	45	465	66	205	736	614時間30分
11月	50	416	63	189	668	549時間05分
12月	47	405	60	198	663	536時間00分
1月	46	458	61	200	719	588時間15分
2月	51	445	72	199	716	583時間45分
3月	45	459	81	215	755	606時間50分
計	581人	5,480回	751回	2,436回	8,667回	7,096時間40分

③予防訪問介護事業

要介護認定で要支援 1・2 と認定された人に、介護が必要な状態にならないよう、心身の状態の維持・改善を目指し、自立して生活できるよう支援しました。

《 予防訪問介護活動状況 》

	利用者数	回 数			提 供 時 間
		週 1	週 2	計	
4 月	7	7	34	41	39 時間 00 分
5 月	7	9	39	48	46 時間 30 分
6 月	7	7	41	48	46 時間 00 分
7 月	6	5	42	47	39 時間 00 分
8 月	7	3	47	50	50 時間 21 分
9 月	7	4	49	53	52 時間 52 分
10 月	6	0	54	54	54 時間 00 分
11 月	6	1	38	39	38 時間 22 分
12 月	7	4	41	45	45 時間 00 分
1 月	5	4	41	45	45 時間 00 分
2 月	5	4	31	35	35 時間 00 分
3 月	5	4	29	33	33 時間 00 分
計	75 人	52 回	486 回	538 回	524 時間 05 分

④訪問入浴介護事業

介護保険の認定を受けた要介護高齢者等に対して、居宅介護サービス計画のもとに、利用者宅に訪問入浴車で訪問し、入浴介護を提供しました。

《 訪問入浴活動状況 》

	利用者数	回 数			提 供 時 間
		全身入浴	部分入浴	計	
4 月	26	110	2	112	112 時間 00 分
5 月	29	113	1	114	114 時間 00 分
6 月	27	114	1	115	115 時間 00 分
7 月	24	116	1	117	117 時間 00 分
8 月	24	100	0	100	100 時間 00 分
9 月	23	109	0	109	109 時間 00 分
10 月	21	101	0	101	101 時間 00 分
11 月	21	92	0	92	92 時間 00 分
12 月	21	97	0	97	97 時間 00 分
1 月	21	97	0	97	97 時間 00 分
2 月	22	95	0	95	95 時間 00 分
3 月	21	104	0	104	104 時間 00 分
計	280 人	1,248 回	5 回	1,253 回	1,253 時間 00 分

⑤予防訪問入浴介護事業

要介護認定で要支援 1・2 と認定された人に、身体の清潔保持や心身機能の維持を目的として入浴の支援をしました。

《予防訪問入浴活動状況》

	利用者数	回 数			提 供 時 間
		全身入浴	部分入浴	計	
11月	1	4	0	4	4時間00分
12月	1	5	0	5	5時間00分
1月	1	5	0	5	5時間00分
2月	1	7	1	8	7時間00分
3月	2	1	0	1	1時間00分
計	6人	22回	1回	23回	22時間00分

* 4月～10月のサービスは無

⑥介護保険対象外生活支援サービス事業

市社協の介護保険サービス利用者を対象に、ごみ出しや通院介助などの介護保険制度対象外のサービスを提供しました。

《サービス実施状況》

	利用者数	回 数	提 供 時 間
4月	3	21	25時間30分
5月	3	18	23時間00分
6月	3	20	21時間30分
7月	5	24	25時間00分
8月	1	14	13時間30分
9月	3	19	23時間30分
10月	3	24	26時間30分
11月	4	19	29時間00分
12月	3	14	16時間30分
1月	2	14	15時間30分
2月	3	16	20時間00分
3月	4	18	22時間30分
計	37人	221回	261時間30分

⑦訪問看護ステーションふじえだの運営

介護支援専門員による居宅サービス計画及び主治医の指示のもと、障害や疾患を持ちながら在宅で療養している人（介護保険のほか、医療保険でも利用可）に対し、訪問看護サービスを提供しました。

《訪問看護活動状況》

	利用者数	回 数				提 供 時 間
		30分未満	30分以上 1時間未満	1時間以上 1時間30分未満	計	
4月	40	53	126	0	179	149時間08分
5月	37	53	122	1	176	146時間13分
6月	36	57	131	1	189	157時間28分
7月	35	60	122	0	182	148時間04分
8月	36	74	104	2	180	140時間47分
9月	37	64	102	1	167	131時間22分
10月	36	72	118	2	192	153時間18分
11月	37	58	102	0	160	127時間25分
12月	35	78	113	1	192	148時間51分
1月	37	73	107	0	180	138時間35分
2月	34	57	101	0	158	125時間57分
3月	31	64	102	0	166	130時間18分
計	431人	763回	1,350回	8回	2,121回	1,697時間26分

《医療保険》

	利用者数	回 数	提 供 時 間
4月	14	95	105時間55分
5月	16	88	96時間29分
6月	15	89	95時間56分
7月	15	105	108時間21分
8月	16	97	103時間33分
9月	15	91	99時間54分
10月	13	92	103時間39分
11月	12	78	88時間15分
12月	12	80	90時間31分
1月	12	78	111時間45分
2月	11	72	82時間02分
3月	11	81	93時間27分
計	162人	1,046回	1,179時間49分

(2) 障害福祉サービス事業

①相談支援事業

障害者総合支援法により支給決定を受けた障害者が、障害福祉サービスを適切に利用することができるようサービス利用計画を相談支援専門員が作成しました。

《障害福祉・相談支援状況》

(単位：件)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
障害者	54	64	60	62	66	58	59	61	60	56	59	63	722
障害児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	90	33	123

②自立支援ホームヘルプサービス事業

支給決定を受けた障害児・者に対し、心身の特性を踏まえて、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう外出、食事、排泄の介護その他の生活全般にわたるサービスを提供しました。

《障害福祉・居宅介護》

	利用者数	回数					提供時間
		身体介護	家事援助	通院	通院身体	計	
4月	54	388	301	5	3	697	572時間45分
5月	64	384	304	2	3	693	558時間05分
6月	60	431	296	5	4	736	587時間30分
7月	62	436	299	4	3	742	602時間25分
8月	66	379	261	3	2	645	516時間45分
9月	58	380	282	4	4	670	547時間20分
10月	59	393	292	5	2	692	565時間40分
11月	61	334	263	3	2	602	494時間00分
12月	60	312	243	4	3	562	461時間35分
1月	56	297	244	3	1	545	432時間00分
2月	59	294	249	9	4	556	473時間15分
3月	63	378	258	4	3	643	515時間15分
計	722人	4,406回	3,292回	51回	34回	7,783回	6,326時間35分

《障害福祉・同行援護》

	利用者数	回 数			提 供 時 間
		身体伴わず	身体伴う	計	
4月	5	37	0	37	70時間45分
5月	9	39	0	39	71時間50分
6月	6	31	0	31	62時間00分
7月	7	37	0	37	71時間10分
8月	6	36	0	36	68時間10分
9月	5	31	0	31	60時間40分
10月	6	33	0	33	69時間45分
11月	10	31	0	31	71時間20分
12月	6	34	0	34	71時間00分
1月	7	34	0	34	72時間10分
2月	7	31	4	35	71時間40分
3月	8	30	4	34	65時間15分
計	82人	404回	8回	412回	825時間45分

(3) 地域生活支援事業

①身体障害者訪問入浴サービス事業 ※市委託事業

在宅での入浴が困難な障害児・者に対し、心身ともに快適な日々を過ごしていただくため、訪問入浴車で自宅に伺い入浴サービス事業を提供しました。

《訪問入浴サービス実施状況》

	利用者数	回 数	提 供 時 間
4月	7	29	29時間00分
5月	6	28	28時間00分
6月	6	26	26時間00分
7月	7	34	34時間00分
8月	7	33	33時間00分
9月	8	39	39時間00分
10月	8	40	40時間00分
11月	8	33	33時間00分
12月	7	34	34時間00分
1月	7	32	32時間00分
2月	7	34	34時間00分
3月	7	27	27時間00分
計	85人	389回	389時間00分

②移動支援事業 ※市委託事業

屋外での移動に困難がある障害児・者に対し、外出のための支援を行うことにより、地域での自立生活及び社会参加を促すことを目的に、移動支援サービスを提供しました。

《移動支援実施状況》

	利用者数	回数	提供時間
4月	9	32	41時間30分
5月	10	34	41時間30分
6月	9	36	42時間00分
7月	7	25	32時間30分
8月	7	26	32時間30分
9月	7	21	25時間00分
10月	7	23	26時間00分
11月	7	16	18時間30分
12月	8	20	26時間00分
1月	6	19	22時間30分
2月	6	21	26時間00分
3月	7	19	26時間00分
計	90人	292回	360時間00分

③自宅等での支援 ※市委託事業

障害児・者の日中における活動の場を確保し、障害児・者の家族の就労支援及び一時的な休息を目的としてサービスを提供しました。

《サービス実施状況》

月	利用者数	回数	提供時間
2月	1人	1回	1時間00分
3月	1人	1回	6時間30分
計	2人	2回	7時間30分

* 4月～1月のサービスは無

(4) 安心すこやかセンター（地域包括支援センター）の運営

地域包括支援センターを市より受託し、地域で生活する高齢者を、介護・福祉・医療などさまざまな面から総合的な支援を行いました。また、地域のケアマネジャーへの指導・助言、医療機関をはじめとした介護に携わる関係機関との連絡調整（ネットワークづくり）に努めました。

①総合相談事業

地域包括支援センターでは、介護に関する相談や悩み以外にも、健康や福祉、医療や生活に関することなど高齢者における総合的な相談に対応し、適切なサービスや機関、制度の利用に繋げました。

(単位：件)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
総合相談件数	51	40	94	61	64	55	70	60	41	33	60	80	709
実態把握件数	1	2	6	2	2	1	0	2	0	1	3	0	20

②介護予防ケアマネジメント事業

介護保険要支援1・2と認定された利用者と各サービス事業所との連絡調整を図り、利用者の主体性を重んじた介護予防サービス計画作成に努めました。また、介護保険の請求事務として給付管理業務も行いました。

(単位：件)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
包括請求分	68	69	70	68	67	65	71	66	65	64	61	62	796
委託請求分	50	46	50	56	59	60	74	80	80	81	93	86	815

*地域支援事業としてはつらつシニア大学の希望者に申請の手続きや相談対応をしました。

③その他の委託事業

その他、地域の連携体制づくりのため「地域包括支援ネットワーク構築会議」や、できるだけ介護状態にならないための「介護予防普及啓発事業」を実施しました。

(単位：件)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
地域ネットワーク会議	0	1	0	1	2	0	2	0	0	2	3	1	12
介護予防普及啓発事業	2	5	5	0	1	0	1	2	0	0	0	0	16

(5) その他の在宅福祉サービス事業

住み慣れた地域の中で、障害者や高齢者及びその介護者の方々が、安心して暮らしていけるように在宅福祉サービスの基盤を強化するとともに、公的福祉サービスの充実と併せ、市社協独自の在宅福祉サービス事業に取り組みました。

①生活管理指導員派遣事業（生きがいホームヘルプサービス）※市委託事業

加齢により心身が虚弱となったが、介護保険制度の対象とならない高齢者世帯を生活管理指導員（ホームヘルパー）が訪問し、生活習慣の改善、家事の自立、近隣の方との関係づくりなどの支援を行いました。

《生活管理指導員派遣状況》

	利用者数	回数	提供時間
4月	1	5	5時間00分
5月	1	3	3時間00分
6月	1	4	4時間00分
7月	1	5	5時間00分
8月	1	4	4時間00分
9月	1	4	4時間00分
10月	1	4	4時間00分
11月	1	4	4時間00分
12月	1	4	4時間00分
1月	1	4	4時間00分
2月	1	4	4時間00分
3月	0	0	0時間00分
計	11人	45回	45時間00分

②認知症支え合い相談コールセンター事業 ※市委託事業

認知症高齢者やその家族の認知症に関する相談に応じ、相談者の不安を少しでも解消できるように実施しました。

《電話相談実施状況》

(単位：件)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
相談件数	3	5	4	4	4	4	7	2	1	4	2	5	45

(6) 生活介護事業所「ポップライフ」の運営

重症心身障害者の通所施設として、今年度4月に新規開設、入浴・食事の提供の他、機能訓練や創作・音楽活動等個々にあったサービスの提供を行いました。また、地域生活支援事業（日中一時支援）として市の委託を受け、通所施設での時間外預かりにより日中活動の場を提供し、見守り及び社会に適応するための日常的な訓練を行いました。

《障害福祉サービス》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所	21	21	21	22	22	20	21	18	20	19	19	22	246日
利用者延人数	166	158	184	206	236	209	237	196	232	218	216	231	2,489人

《地域生活支援事業》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実施	7	8	10	7	8	3	8	11	8	7	10	9	96日
利用者延人数	15	16	20	17	13	11	19	24	23	15	22	15	210人

その他の福祉活動

各種福祉施設の管理運営を受託し、住民にとって使いやすい施設となるようサービスの向上に努めました。

(1) 老人福祉センター「藤美園」の運営状況

単位老人クラブの教養研修をはじめ、一般来園者の健康増進とレクリエーションの場として多くの住民に利用されました。特に本年度は市が主催する市内 65 歳の方たちを対象とした介護保険制度説明会時に来園者増加のため PR 活動に努め、昨年度と比較し利用者が約 5,300 人増加しました。

《年間利用状況》

	開館 日数	団体利用		個人利用			計	講座		利用者合計
		団体数	人数	市内	市外	その他		回数	参加者人数	
4月	25	40	811	1,026	5	26	1,057	14	263	2,131
5月	24	33	792	973	5	26	1,004	12	253	2,049
6月	25	38	740	1,027	14	28	1,069	12	263	2,072
7月	26	34	781	1,029	20	56	1,105	13	277	2,163
8月	27	32	550	941	24	45	1,010	11	207	1,767
9月	23	39	967	1,029	12	35	1,076	12	263	2,306
10月	26	36	648	1,156	10	45	1,211	12	239	2,098
11月	23	36	551	1,011	14	23	1,048	13	254	1,853
12月	23	39	652	842	9	31	882	11	196	1,730
1月	22	35	808	1,026	9	2	1,037	11	203	2,048
2月	23	43	733	1,195	6	64	1,265	11	204	2,202
3月	25	48	758	1,193	6	7	1,206	12	219	2,183
計	292日	453団体	8,791人	12,448人	134人	388人	12,970人	144回	2,841人	24,602人
月平均	24日	38団体	733人	1,037人	11人	32人	1,081人	12回	237人	2,050人

(2) 生きがい対応型デイサービスセンター「藤の里」・「きすみれの里」の管理運営

介護保険に該当しない身体的に虚弱な高齢者を対象に、通所により健康体操やレクリエーション活動等のサービスを提供することによって、高齢者の自立生活の助長、社会的孤独感の解消、心身機能の維持向上等を図ることを目的に開所しました。なお、藤の里は指定管理者として施設の管理運営を行いました。

「藤の里」《年間利用状況》

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開催日	21	20	21	22	21	20	21	18	19	19	19	22	243日
利用者延人数	303	293	307	313	255	280	301	263	276	242	248	270	3,351人

「きすみれの里」《年間利用状況》

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開催日	21	20	21	22	21	20	21	18	19	19	19	22	243日
利用者延人数	267	260	278	280	229	242	263	201	213	219	217	235	2,904人

(3) 放課後等デイサービス ルピナスの運営

学校通学中の障害児に対して、放課後や夏休み等の長期休暇中において、生活能力向上のための訓練等を継続的に提供しました。また、学校教育と相まって障害児の自立を促進するとともに、放課後等の居場所づくりを推進し放課後等デイサービスの運営に努めました。

《年間利用状況》

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開催日	21	20	21	22	16	20	21	18	18	19	19	22	237日
内1日開所日数	5	0	1	7	15	0	0	0	3	1	2	6	40日
利用者数	219	215	230	229	157	216	228	203	207	201	226	267	2,598人

(4) 藤枝市福祉センター きすみれの管理運営

市からの指定管理者として、センターの貸館及び管理運営と併せて、住民の活動拠点となるよう施設の周知に向けた積極的なPRと自主事業の開催に努めました。

《年間利用状況》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開館日	26	27	25	27	27	25	27	26	23	23	24	26	306日
貸館利用者	442	571	555	638	704	604	1,240	659	799	559	616	867	8,254人
健康運動室利用者	428	514	469	557	554	557	472	493	356	425	466	450	5,741人
福祉ボランティア室	236	207	228	192	155	259	233	226	237	228	217	251	2,669人
計	1,106	1,292	1,252	1,387	1,413	1,420	1,945	1,378	1,392	1,212	1,299	1,568	16,664人

《自主事業の実施》

平成26年 4月23日～	月1回	『健康運動しよう』(年12回)
平成26年 5月2日、14日		『きすみれ花壇の花植え事業』春植え
平成26年 4月4日～	月2回	『アンチエイジング・ヨガ』(年24回)
平成26年10月5日		『わくわくフェスタきすみれ』
平成26年10月28日		『スイーツ作り講座』
平成26年11月10日		『中華料理講座』
平成26年11月17日、25日		『きすみれ花壇の花植え事業』秋植え
平成26年11月18日		『プロから学ぼう!! イタリア料理のコツ』
平成26年12月14日		『ふるさとみかん山収穫体験』

《防災訓練の実施》

平成 26 年 9 月 4 日 (情報伝達訓練・避難訓練・AED 訓練・搬送訓練)

平成 26 年 12 月 3 日 (通報・避難訓練・消火訓練・三角巾の使用方法)

※全館をあげて昨年以上、節電に努めました。

わくわくフェスタきすみれ



(5) 放課後児童クラブの管理運営

放課後児童クラブ（藤枝市放課後児童健全育成事業）の運営が、平成 25 年 4 月 1 日より、市から市社協へ全面受託され、市内 19 児童クラブを統一し管理運営を行いました。

保護者が労働等により昼間家庭にいないおおむね 10 歳未満の子どもたちを放課後等にお預かりして保育し、併せて主任指導員連絡会議や指導員研修会を開催して資質向上に努めました。

《年間利用状況》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
月平均開所日(合計)	22	21	22	23	22	21	23	19	20	20	20	23	256日
実利用者数(合計)	861	843	831	831	846	813	794	789	791	767	756	765	9,687人

(6) 共同募金運動の実施

10 月 1 日から全国一斉に共同募金運動が展開され、赤い羽根・歳末たすけあいの募金募集（街頭募金の実施）と各施設や団体等への機器整備等の助成申請の手続きを行いました。



赤い羽根共同募金 街頭募金